



2027年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月6日

上場会社名 株式会社フェリシモ 上場取引所 東
 コード番号 3396 URL <https://www.felissimo.co.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）矢崎 和彦
 問合せ先責任者 （役職名）取締役 経営企画室長 （氏名）宮本 孝一 TEL 078-325-5555
 半期報告書提出予定日 2026年10月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年3月1日～2026年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年2月期中間期	14,147	△0.8	122	△39.4	262	6.1	231	7.0
2026年2月期中間期	14,255	0.0	202	—	247	—	215	—

（注）包括利益 2027年2月期中間期 167百万円（△19.4％） 2026年2月期中間期 208百万円（－％）

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期中間期	32.43	—
2026年2月期中間期	30.31	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年2月期中間期	27,274	19,677	72.1
2026年2月期	28,053	19,651	70.1

（参考）自己資本 2027年2月期中間期 19,677百万円 2026年2月期 19,651百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2027年2月期	—	0.00	—	—	—
2027年2月期（予想）	—	—	—	25.00	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	30,265	3.7	237	10.4	327	△30.2	299	△16.5	42.09

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年2月期中間期	9,543,500株	2026年2月期	9,543,500株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2027年2月期中間期	2,420,914株	2026年2月期	2,420,914株
-------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（中間期）

2027年2月期中間期	7,122,586株	2026年2月期中間期	7,122,586株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 2「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2026年3月1日～2026年8月31日）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、緩やかな回復が期待されました。しかしながら、中東情勢や自然災害の影響を注視するとともに、金融資本市場の変動の影響等にも注意する必要があり、先行きは不透明な状況にありました。

このような経営環境の中、当社グループは経営理念である「しあわせ社会学の確立と実践」のもと、前期に確立した収益基盤を土台に、「増収増益の常態化」を実現する極めて重要な期間と位置づけ、「定期便事業の抜本的強化」と「次世代事業の創造」を両輪として成長軌道を牽引することを目指しております。

当中間連結会計期間の概況としましては、主力である定期便事業ではコストパフォーマンスや利便性を優先する社会の風潮とは一線を画し、当社独自の強みである「共感主導型マーケティング」をさらに徹底いたしました。この結果、著名なアーティストやキャラクターとの特別なコラボレーション商品及びSNSでのショート動画広告等が生活者の心を捉え、新規顧客の獲得数は前年同期を上回る成果を上げました。一方、既存顧客の購入頻度の低減により、顧客数は減少し、売上高は12,184百万円（前年同期比 2.6%減）となりました。

また、新規事業領域では、取引先事業者が出品・出稿できる「FELISSIMO PARTNERS（フェリシモ パートナーズ）」において、カタログページ数やWEB商品掲載数を増やしたことで売上が伸びました。また、ビジネスプロデュース事業として「EXP02025オフィシャルオンラインストア」の運営開始、兵庫県からの受託事業「HYOGOSSIMO（ひょうごッシモ）」プロジェクトの開始、エリアメディア事業として青森市内の各所とのコラボレーションによる「AOMORI×Dick Bruna TABLE」プロジェクトの実施等、社会価値と経済価値を両立する新たな共創事業の創造に取り組み、売上高は1,963百万円（前年同期比 12.7%増）となりました。

これらの結果、当中間連結会計期間における当社グループの売上高は14,147百万円（前年同期比 0.8%減）となり、売上総利益は7,896百万円（前年同期比 0.8%増）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、定期便の新規顧客獲得を目的とした広告費の増加や前年同期における費用発生時期の違いによる人件費の増加（なお、通期の人件費につきましては前期と同水準で推移する見通しであります）等から7,773百万円（前年同期比 1.9%増）となり、営業利益は122百万円（前年同期比 39.4%減）となりました。

営業外損益におきましては、為替差益等の営業外収益を141百万円計上した結果、経常利益は262百万円（前年同期比 6.1%増）となりました。税金等調整前中間純利益は262百万円（前年同期比 6.1%増）となり、親会社株主に帰属する中間純利益は231百万円（前年同期比 7.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ778百万円減少し、27,274百万円となりました。これは主に商品が562百万円増加したことに対し、現金及び預金が822百万円及び売掛金が488百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ804百万円減少し、7,597百万円となりました。これは主に電子記録債務が660百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ25百万円増加し、19,677百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益を231百万円計上したことに対し、利益剰余金の配当142百万円を行ったことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて1,322百万円減少し、7,889百万円となりました。

営業活動の結果減少した資金は358百万円（前年同期は194百万円の増加）となりました。これは主に減価償却費の計上468百万円及び売上債権の減少488百万円に対し、棚卸資産の増加542百万円及び仕入債務の減少601百万円となったことによるものであります。

投資活動の結果減少した資金は859百万円（前年同期は57百万円の減少）となりました。これは主に定期預金の預入が払戻を上回ったことによる支出500百万円、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出346百万円となったことによるものであります。

財務活動の結果減少した資金は145百万円（前年同期比 32.3%増）となりました。これは主に配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期通期の業績予想につきましては、2026年4月7日に開示いたしました前回予想からの修正はありません。当社の事業活動や経営成績に影響を及ぼすおそれが生じた場合は速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,761	8,939
売掛金	2,451	1,962
有価証券	299	—
商品	4,365	4,928
貯蔵品	76	56
その他	419	527
貸倒引当金	△26	△25
流動資産合計	17,347	16,388
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,227	4,140
土地	1,950	1,950
その他（純額）	302	357
有形固定資産合計	6,481	6,447
無形固定資産	1,572	1,489
投資その他の資産		
投資有価証券	2,362	2,649
その他	290	299
投資その他の資産合計	2,652	2,948
固定資産合計	10,706	10,886
資産合計	28,053	27,274
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,071	1,130
電子記録債務	2,334	1,673
未払金	1,264	1,065
未払法人税等	99	70
賞与引当金	161	170
その他の引当金	85	86
その他	899	890
流動負債合計	5,915	5,088
固定負債		
退職給付に係る負債	2,194	2,216
その他	292	292
固定負債合計	2,486	2,509
負債合計	8,401	7,597

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,868	1,868
資本剰余金	4,841	4,841
利益剰余金	14,851	14,940
自己株式	△2,372	△2,372
株主資本合計	19,190	19,278
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31	23
繰延ヘッジ損益	12	5
退職給付に係る調整累計額	417	370
その他の包括利益累計額合計	461	398
純資産合計	19,651	19,677
負債純資産合計	28,053	27,274

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
売上高	14,255	14,147
売上原価	6,424	6,251
売上総利益	7,830	7,896
販売費及び一般管理費	7,628	7,773
営業利益	202	122
営業外収益		
受取利息	55	58
受取家賃	3	3
為替差益	—	71
受取補償金	0	—
その他	13	8
営業外収益合計	72	141
営業外費用		
為替差損	27	—
その他	0	2
営業外費用合計	27	2
経常利益	247	262
税金等調整前中間純利益	247	262
法人税、住民税及び事業税	31	31
中間純利益	215	231
親会社株主に帰属する中間純利益	215	231

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
中間純利益	215	231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	△8
繰延ヘッジ損益	15	△6
退職給付に係る調整額	△32	△47
その他の包括利益合計	△7	△63
中間包括利益	208	167
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	208	167

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	247	262
減価償却費	433	468
引当金の増減額 (△は減少)	9	9
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△35	△24
受取利息及び受取配当金	△55	△58
為替差損益 (△は益)	23	△40
売上債権の増減額 (△は増加)	583	488
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△151	△542
仕入債務の増減額 (△は減少)	△923	△601
未払金の増減額 (△は減少)	36	△211
その他	△40	△103
小計	127	△354
利息及び配当金の受取額	88	55
法人税等の還付額	5	—
法人税等の支払額	△27	△59
営業活動によるキャッシュ・フロー	194	△358
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,908	△550
定期預金の払戻による収入	2,600	50
有価証券の償還による収入	—	300
有形固定資産の取得による支出	△53	△132
無形固定資産の取得による支出	△196	△213
投資有価証券の取得による支出	△500	△301
その他	△0	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△57	△859
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△2	△2
配当金の支払額	△106	△142
財務活動によるキャッシュ・フロー	△109	△145
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	40
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	27	△1,322
現金及び現金同等物の期首残高	6,407	9,211
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,435	7,889

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。